

名古屋からの残暑伺い

暦の上では、すでに立秋を過ぎて秋だということに、連日、猛暑日が続いておりますが、読者の皆様におかれましては、如何お過ごしでしょうか。筆者にとっては、本誌の6月号の論稿(ただし、「旧題」を「継続は力なり」に改訂)で紹介させて頂いたように、本年の5月より名古屋にある財団(中部産業地域活性化研究センター: CIRAC)のフェローとして、中部圏を対象とした「地域間産業連関表」の作成とその活用に向けた研究プロジェクトの業務に専念するとともに、折をみては名古屋とその周辺地域についても自らの目を通して学ぶべく、適宜、訪ねておりますが、それにしても今年の夏は記録的な猛暑日が続いて、只々驚愕至極の感を覚えております。

とりわけ、名古屋とその周辺地域は、日本でも有数の猛暑日が続く連続地帯であるとは露知らぬ筆者にとって、昼食時に名古屋市街の道を直射日光でも浴びて歩くものなら、わが身が焦げるのではないかと心配するほどで、「この暑さは、かつて体験したことのあるシンガポールの夏の暑さよりも暑いのではないか」と思えたほどです。しかも、このような暑さを裏付けるように、先日の新聞報道によれば、「岐阜・多治見市で37.5度…本日も猛暑列島」という見出しのもとで、「気象庁によると、午後0時半現在、岐阜県多治見市で37.5度、三重県桑名市で37.0度、愛知県東海市での36.7度と最高気温35度以上の「猛暑日」となった。東京都練馬区では34.6度(正午現在)となっており、東京消防庁によると都内では、午前10時現在で計10人が熱中症で病院に搬送された」と伝えております。

このような暑い日が続くなかで、筆者が担当している名古屋での本来の業務にも大いに支障をきたしているのではないかと危惧しておられる方もおられるかと思いますが、そこは老骨に鞭打って水分を十分に補給して、早朝からの時間の捻出を有効に図ることにより、奮励努力を致しているわけでありませう。「心頭滅却すれば火もまた涼しい」とはいわないまでも、筆者にとっての「新たな職場」での仕事が非常に魅力的で、それだけにまた遣り甲斐のあるものですから、本来の業務に加えて、可能な限りその他の関連業務に対しても積極的に参加している状況にあります。

例えば、その証左として、このほど、当財団が事務局を担当している2010年度の「アドバイザー会議」が、名古屋市内のホテルで開催された折に、事務局側を代表として川口会長等とともに筆者自身も参加を要請され、敢えて私見を披露させて頂きました。

この「アドバイザー会議」とは、名古屋大学の濱口総長を座長として、金沢大学の中村学長や名古屋工業大学、信州大学、三重大学、岐阜大学の諸学長に加えて、中部経済連合会や北陸経済連合会の代表の方々が一堂に会して率直な意見交換を行う場であり、本年度の中心的なテーマとして、「大学の教養教育の充実について」と「中部としての産学連携のあり方」が取り上げられ、大いに話し合われました。ちなみに、この「アドバイザー会議」に参加するために、急遽、エジプト・アラブ共和国から帰ってこられたわが財団の川口会長の所見によれば、「名古屋はエジプトよりも涼しいよ!」とのことでした。このようなことから冷静に考えてみるに、担当業務の進捗状況は、周囲の環境条件よりも、その業務自体に寄せる熱意に加えて、その業務遂行の意義と役割に対する自覚の程度によっても、その影響を大いに受けるのではないかと考えられます。

そこで最後に、筆者が調査研究の対象地域として直接的に取り扱っている「中部圏」の概要についてコンパクトな説明を加えておくことにしよう。その「中部圏」とは、中部圏開発整備法によって指定された政策圏域であり、その具体として、富山県、石川県、福井県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県の9県を指しております。この「中部圏」の人口(2005年)は2,171万人(17.0%)で、「首都圏」の4,238万人(33.2%)、「近畿圏」の2,358万人(18.5%)に次ぐものとなっております。

また、この「中部圏」の地域的な特徴として、地勢学的には「日本列島の中央に位置」しており、しかも極めて数多くの地域資源に恵まれた、多様性に富む開放的な地域でもあります。そこで、かかる開放性と多様性を論理整合的に補足し得る最も効果的な基礎資料(ないしデータベース)としての「地域間産業連関表」の作成とその活用が、とりわけ強く求められているわけでありませう。



井原 健雄

(香川大学名誉教授)

Takeo
Ihara

NEWS

1

「讃岐そうめん祭り」を開催

香川県製粉製麺協同組合

香川県製粉製麺協同組合(亮天啓行理事長)は、7月25日高松市の栗林公園で「讃岐そうめん祭り」を開催しました。照りつける日差しのなか開始時間の11時前には長蛇の列がつくれ、主催者からの開会挨拶の後、ちびっこそうめん大使による通水式で封切られました。待ちかねた観光客は用意された流しそうめん1,000食分を次々とたいらげていました。

香川といえば「うどん」、「うどん」といえば香川といわれるくらい「讃岐うどん」は有名ですが、機械打ちそうめんの生産量も長年にわたり日本一をキープしています。

近年麺類の消費は、一部の麺を除き漸減が続いています。組合では昭和59年から平成元年にかけて高松市内の商店街で流しそうめんを行っていた経過もあり、うどんだけでなくそうめんも全国に発信しようと企画。栗林公園には外国の方の入園者も多く、国際色豊かなそうめん流しとなりました。



▲讃岐そうめんまつりの様子

NEWS

2

「香川町むかしまつり」を開催

香川町商業協同組合

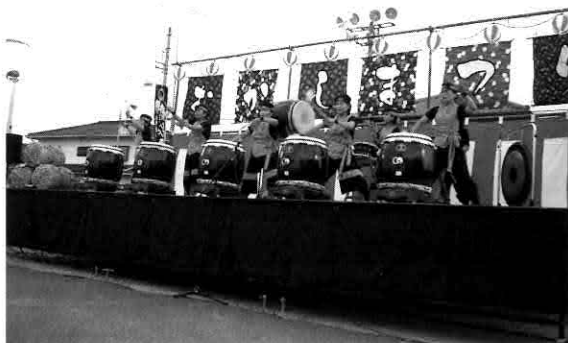
香川町商業協同組合(北村隆理事長)は、8月21日ショッピングセンター・ウイングポート駐車場で「香川町むかしまつり」を開催しました。

香川町周辺には、昔は「城」があり、街道沿いであり「人・モノ・情報」が行き交う地域でした。

現在でも、その名残があり、数多くの保存会が地域に存在しています。この、古来より育まれてきた香川町の文化の保存、継承とともに、地域の方々の交流を行うことを目的に、江戸時代以前を想わせる「むかし」に着眼し、祭りの開催を企画したものです。

当日は、館内や屋外の特設舞台で地元の保存会の皆様による民舞や太鼓の演奏が披露されたほか、むかしながらの夏の風物詩である盆踊り大会、むかしから伝わるどんじょ汁、大野豆のしょうゆ豆等郷土料理や地産の新鮮野菜などの屋台、素朴であるけれどもユニークな弓矢、わなげ、投扇興等の縁日などで参加者は大いに「むかし」を楽しみました。

北村理事長は「愉しむ事を通じて、地域の人達の暖かい「和」が広がっていけばと考えております」と語っていました。



▲太鼓の演奏



▲むかしあそびの縁日

中央会だより 1

第62回中小企業団体全国大会参加ツアー参加者募集!

中小企業者の総力を結集して開催される第62回中小企業団体全国大会が、平成22年11月18日(木)奈良県奈良市の「なら100年会館」において開催されます。

本大会は、「新たな出発 未来を創る 団結の力!」をキャッチフレーズに、全国の中小企業団体の代表者が一堂に会し、自らの決意を内外に表明するとともに、国等に対して中小企業振興施策の強化を訴え、組合等連携組織を通じた中小企業の成長、豊かな地域社会の実現を図ることを目的としております。

本会では大会への参加と交流を深めるため下記の通り大会参加ツアー企画いたしました。
是非、傘下の組合員の皆様にもご周知いただきまして、多数のご参加をお待ちしています。



▲全国大会会場「なら100年会館」



▲平城宮跡



▲薬師寺

1. 行程表



※全行程貸切バス使用。

日程	スケジュール	宿泊
11/17 (水)	JR高松駅 —— 淡路SA —— (昼食) 伏見酒造 —— 寺田屋 —— 相國寺 —— 南禅寺 —— ホテル (8:20/8:30) (10:45/11:00) 烏せい本店 (12:30) (14:00) (14:30/16:00) (16:15/17:15) (17:30)	ホテル京阪 京都
11/18 (木)	ホテル —— (昼食) 第62回全国大会 (なら100年会館) —— 平城宮跡 —— 薬師寺 —— ホテル (8:30) (9:30/13:00) (13:15/15:00) (15:20/16:20) (17:50)	おごと温泉 びわ湖花街道
11/19 (金)	ホテル —— 比叡山延暦寺 —— (琵琶湖大橋) —— (昼食) 近江八幡 —— 淡路SA —— JR高松駅 (8:30) (9:20/11:00) 近江商人の街並散策 (12:15/14:00) (16:30/16:45) (18:30)	

※各地の道路状況により、多少変更になる場合がございますのでご了承下さい。

2. 参加料(旅行代金) 金 80,000円(全国大会参加費含む。)

3. 募集人員 30名

4. 申込み締め切り日 平成22年10月8日(金)

お問い合わせ
申し込み受付先

香川県中小企業団体中央会 丸山、朝國
TEL.087-851-8311

中央会だより 2

香川県外国人研修生受入組合連絡協議会が通常総会を開催

香川県外国人研修生受入組合連絡協議会は、8月5日、ホテルパールガーデン(高松市)において平成22年度通常総会を開催し、組合関係者ら37名が出席しました。

楠井芳則協議会副会長(香川県縫製品工業協同組合理事長)の挨拶の後、平成21年度事業報告・収支決算、平成22年度事業計画・収支予算、役員補充、平成22年度会費の賦課額及び徴収方法についての審議が行われ、議案どおり承認可決されました。

議案審議の後、高松入国管理局の椎葉首席審査官をはじめ、香川労働局、四国経済産業局、香川県、(財)国際研修協力機構高松駐在事務所の各担当者から来賓の挨拶並びに外国人研修生・技能実習生受入組合が留意すべき事項についての説明がありました。

本協議会は組合が実施する「外国人技能実習生共同受入事業」の本来の目的である開発途上国の人材育成協力という視点に立ち、実習生の秩序だった受入れ、技能向上



▲総会の様子

など、本事業の適正な運営を推進することを目的に実習生受入事業に関する情報

交換会・意見交換のための会議の開催、広報活動の実施、セミナーや講習会の開催、調査研究の実施を行っています。



▲楠井副会長

中央会だより 3

平成22年度官公需確保対策地方推進協議会開催される

7月30日、四国経済産業局において平成22年度官公需確保対策地方推進協議会(四国経済産業局主催)が開催されました。この協議会は、官公需施策に関する意見交換の場として、毎年開催されているもので、関係官公庁の担当者をはじめ、官公需適格組合代表者や本会官公需関係担当者ら約60名が出席しました。

はじめに中小企業庁事業環境部取引課野沢和幸氏より「平成22年度中小企業者に関する国等の契約の方針」についての解説がありました。中小企業者の自助努力への支援強化として①国の発注機関ごとに「官公需相談窓口」の設置②官公需の仕事探しの相談に応じる「官公需総合相談センター」を全国に設置③中小企業支援機関での支援ツールとして、官公需情報ポータルサイトの利用促進についての説明がありました。

その後、本会官公需担当者が官公需関連事業について説明を行いました。

最後に、県内官公需適格組合を代表して、讃岐石材加工協同組合漆原理事長、香川県書店商業組合宮協理事長、香川エルピーガスクリーン協同組合三好理事長から、組合PR並びに関係官公庁に対する受注機会増大の依頼が行われました。

なお、「中小企業者に関する国等の契約の方針について」は中小企業庁のホームページに掲載されています。



▲説明を行う中小企業庁野沢氏

<http://www.chusho.meti.go.jp/keiei/torihiki/2010/100618KuniKeiyakuHoushin.htm>

「官公需総合相談センター」を開設

平成22年6月18日に閣議決定された「平成22年度中小企業者に関する国等の契約の方針」に基づき、全国中小企業団体中央会と都道府県中小企業団体中央会は、「官公需総合相談センター」を開設しました。

この「官公需総合相談センター」は、全国及び都道府県中小企業団体中央会の官公需担当者等が、国の機関や独立行政法人の官公需に関する仕事探しをしている中小企業者を支援するために設置されたものです。

是非とも「官公需総合相談センター」をご活用ください。

1.開設日

平成22年8月23日(月)

2.設置場所

香川県中小企業団体中央会 事務所内

3.主な業務内容

(1)「官公需情報ポータルサイト」【※1】を活用した情報の提供

例:発注に関する情報、入札参加資格に関する情報、国等の発注部局の相談窓口に関する情報等の提供

(2)「官公需適格組合制度」【※2】の概要や取得申請・更新等に関する助言等

(3)中小企業者等からの官公需情報に関する問合せの対応

4.相談に係る費用等

相談料は無料です。面談、電話、メール等により相談を受け付けます。詳細は下記までお問い合わせ下さい。

5.お問い合わせ先

(1)香川県中小企業団体中央会 事業振興部 tel.087-851-8311

(2)全国中小企業団体中央会 政策推進部(東京都中央区新川1-26-19 全中・全味ビル4階)

tel.03-3523-4902 URL <http://www.chuokai.or.jp/>

【※1】官公需情報ポータルサイトとは…

「官公需情報ポータルサイト」は、国・独立行政法人、地方公共団体等がホームページ上に掲載している入札情報を検索するサイトで、平成21年10月1日から運用されています。特に、入札に関する情報は、発注機関がホームページ上に情報を公開してから1日程度経過後に本サイトのデータベースに登録されます。(利用に当たっては「本サイトご利用に当たっての留意事項」でご確認下さい。)

官公需情報ポータルサイト <http://kankouju.jp/>

【※2】官公需適格組合とは…

中小企業組合の中で、特に官公需の受注に対して意欲的であり、かつ受注した契約は十分に責任を持って履行できる体制が整備されている組合であることを中小企業庁(経済産業局及び沖縄総合事務局)が証明しているのが官公需適格組合で平成21年12月現在全国で826組合(香川県13組合)が受注活動を実施しています。

「IT経営気づき研修会」開催組合募集

このたび、全国中央会では特定非営利活動法人ITコーディネータ協会と連携し、IT経営気づき研修会開催事業を実施することとなりました。

つきましては、下記の募集要領をご覧のうえ、開催を希望される組合におかれましては香川県中央会までご連絡いただきますようお願い申し上げます。(第1回申し込み締め切り9月30日(木))

なお、開催回数に制限がありますので、予定回数に達した段階で募集を締め切らせていただきます。

1.研修内容・カリキュラム

IT経営気づき研修会の設置コースには、「入門編(講義形式)」「入門編(演習形式)」「基礎編」「IT経営実践セミナー(入門編)」の4つのコースがありますので、いずれかのコースを選択して実施して下さい。

研修時間は原則として各コースともそれぞれ「3時間」です。また、研修終了後に個別相談の時間を設けて下さい。

【IT経営気づき研修会 設置コース】

入 門 編 (講義形式)	
テーマ	『これからIT経営を導入するには!』
内 容	過去にIT導入で失敗した経験から、現在もIT活用を拒絶し、ためらいを感じている経営者等に対し、可能な限り現場感覚の視点に立ち、目の経営課題解決のための道具としてパソコンやインターネットがどれほど便利で有効であるか、具体的な事例を交えて解説することで、IT経営への「気づき」を持ってもらう。

入 門 編 (演習形式)	
テーマ	『いま、経営力向上にITを生かすには! ~演習形式・ウェブ活用集客編~』
内 容	中小企業における自社情報の発信に対する意識は、必ずしも高いとはいえない状況にある。本研修会では、比較的小規模の個店にも効果的な情報発信ツールとして、ホームページを題材とした集客・宣伝方法を演習形式で提示するとともに、ホームページを作成・運営すること自体が自社の経営課題や特徴を明確にし、経営改善そのものにつながるということに「気づき」を持ってもらう。

基 礎 編	
テーマ	『IT経営とは~IT活用のコツを理解しよう』
内 容	IT経営に「気づき」を持った経営者に対し、実際にIT経営を実践している企業の事例(製造業・小売業)を紹介しながら、自らの経営にITをどのように導入・活用していくべきか、そのヒント等を提示する。

IT経営実践セミナー(入門編)	
テーマ	『これからの経営をさらに良くするために!』
内容	日頃、感じている経営課題の再認識をし、IT経営の成功事例の研究を通じて、経営課題の解決にはITが必要不可欠との認識を持ってもらう。そしてIT経営への取り組みの第一歩を踏み出すきっかけを得てもらう。

※上記テーマについては、内容・カリキュラムに沿う範囲で変更することができます。
 ※カリキュラムの内容については本会ホームページをご覧ください。

2.開催時期

平成22年9月下旬～平成23年2月上旬

3.補助対象経費

- ①講師謝金:研修会講師に対する謝金
- ②講師旅費:研修会講師にかかる交通費
- ③会場借料:研修会場の借料(マイク、水差し、ホワイトボード代等を含む)。(上限3万円を目安)
- ④機器使用料:研修会場で使用するプロジェクタ、スクリーン、パソコンなどの機器使用料
(パソコンは講師用のみ)

4.講師

日本商工会議所主催の「IT経営気づき研修会事業説明会」に参加したIT経営の専門家もしくはITコーディネータ協会等主催のインストラクター研修会を受講したIT経営の専門家、もしくはそれに準じて研修を行うことのできる専門家を全国中央会が手配します。

5.留意事項

- 受講者は1回あたり原則10名以上30名以内程度で、経営者または経営に携わる方の参加がその半数程度(最低6名以上)であることが実施要件となります。
- 本研修の受講料は原則無料となります。
- 研修会開催1ヵ月前には研修会計画書を、研修終了後は、1ヵ月以内に開催報告書、出席者名簿・アンケート集計表、個別相談シートを提出していただきます。
 なお、研修会計画及び開催報告の内容については、IT経営応援隊のホームページに掲載いたしますので、予めご了承ください。

6.問い合わせ先

香川県中小企業団体中央会 事業振興部 TEL.087-851-8311

「景気改善の動きは依然低水準」

2010年7月

7月の県内景況は、前年同月と比べて業界の景況DI値は-36.2ポイントで前月調査の-45.8ポイントと比べ9.6ポイント改善した。その他の主要指標のDI値においては、売上高DI値は-34.1ポイントで前月調査の-54.2ポイントと比べ20.1ポイントの改善、収益DI値も-44.7ポイントで前月調査の-56.3ポイントと比べ11.6ポイントの改善となっており、主要3指標全てで改善している。また、全国集計においても、8指標全てで改善しているものの、依然として低水準に止まっている。

香川県内の業種別DI値の変化 (対前年同月比)

		売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人数	業界の景況
製造業	食料品									
	繊維・同製品									
	木材・木製品									
	紙・紙加工品									
	印刷									
	化学製品									
	窯業・土石製品									
	鉄鋼・金属製品									
	一般機器									
	電気機器									
	輸送用機器									
	その他									
非製造業	卸売業							—		
	小売業							—		
	商店街							—		
	サービス業		—					—		
	建設業		—					—		
	運輸業		—					—		
	その他		—					—		
DI値(当月)		-34.1	-23.5	-27.7	-23.4	-44.7	-31.9	-25	-19.1	-36.2
DI値(前月)		-54.2	-33.3	-31.3	-20.8	-56.3	-37.5	-28	-18.8	-45.8

好 転	やや好転	変わらず	やや悪化	悪 化
30以上	10~30未満	10未満~▲10	▲10超~▲30未満	▲30以上

DI(ディフュージョン・インデックス)…前年同月と比較した企業の景況感を示す業況判断指数

計算式: (「増加」「好転」した組合数 - 「減少」「悪化」した組合数) / 有効回答組合数 × 100

※ただし、在庫総数についてはDI値マイナスの場合には好転、プラスの場合には悪化の方向とします。

※中央会では、県内の地区・業種を代表する中小企業組合の役員(19業種、48名)を情報連絡員として委嘱しており、本調査報告は、連絡員からの景況報告をもとに毎月集計しております。

業界情報

【食料品】

- 6～7月にかけての天候不順により販売不振であったが、7月後半からの天候回復により販売が持ち直している。(製粉製麺)
- 出荷高対前年同月比100.6%(調理食品)
- 御中元シーズン到来により、組合員の景況は売上高微増(前年同月比)の状況にある。しかし、めんつゆを中心とする淡麗のしょうゆ加工品は売上減の状況にあるとの報告もある。当組合の4月～7月の生揚出荷数量は前年同期比96.2%とやや持ち直しの傾向にあるものの上半期(4月～9月)で前年並の確保は難しい状況にある。(醤油)

【繊維・同製品】

- 春夏用UV手袋は今夏の猛暑にもかかわらず、靴下産業等異業種の低価格商品が大量に市場に出回り、販売数量・価格とも大きな影響を受けている。スポーツ用手袋は猛暑の影響でゴルフプレーの減少等があり今秋のシーズンに期待したい。冬物手袋は生産の最盛期入ったが販売の先行きが見えず各企業とも憂慮している。(手袋)

【木材・木製品】

- 特に業況については大きな変化は見られません。依然厳しい経営環境下にあり極めて憂慮すべき状況である。(家具)
- 梅雨の状況で住宅着工の工程が上手く組めなくて大変苦労していた。先送りも結構多くあり、売上増には繋がらなかった。(製材)
- 猛暑のため作業が遅れ、流通在庫が増加。それに伴い売上げが減少。(木材)

【印刷】

- 受注が回復しておらず、受注単価も厳しい状況下にある。中堅・大手に属する組合では選別受注への切替も検討又は実施している。(印刷)

【窯業・土石製品】

- 平成22年に入り工事量の減少による売上減が続いている。これに加え市場の販売価格の低下が見られ組合員の資金繰りの悪化が懸念される。(生コン)
- 昨年度の同月は好調であったのに今年度は4月より横這い状態。全く先が読めない状況。(ブロック)
- 繁忙期を迎え、動きの良い事業所も出てきているが完全な二極化になっている様に感じる。忙しい事業所は通年忙しく、そうでない事業所は繁忙期であっても忙しくないという状況である。(石材加工)

【鉄鋼・金属】

- Quality, Cost, Deliveryそれぞれについてエンドユーザーの要求レベルが高くなってきている。特にコスト面では仕入原価向上を吸収しかねる状況であり、販売単価の値上げ交渉も現実進めていく必要がある。(鍍金)

【一般機器】

- 受注増加の気配があるが、兆候は大変弱くなっている。クレーン関連部門の受注期待は空振りに終わった模様で9月以降に期待。一般機械についても引き合いがきており、受注の増加に努力中。鉄骨には徐々に引き合いが来始めた。しかし中小零細企業は依然として雇用環境が厳しい。造船については引き続き高稼働率であるが今後の採算については円高、原材料高等が要注意。(一般産業用機械・装置)

【その他製造業】

- 今期の商戦の状況として受注のピークが大幅に後退して6月中旬となったと考えられる。従って製造期間が短縮した結果、業界全体として数量減が生じたと思う。(団扇)
- 長い梅雨明け、いきなり真夏の日が多くなると消費の動きが出てきました。我が業界でも布団の打ち直しに伴って関連のあるカバー、枕など少しではありますが需要が増えてきました。また官庁の需要も見込める模様です。(綿寝具)

【小売業】

- 何県か同価格はあるが販売価格は全国ワースト1位。これ以上価格の動きようがないのではと感じる。元売合併後の影響は今のところ何とも言えない状況である。業界もハイブリッド車に高い関心を示し、セミナー公募にも力を入れている。(石油)
- 梅雨明け後エアコンの販売が伸びている。特に昨夏が天候不順の影響で販売が落ち込んだ分今夏は対前年比150～160%の伸びである。またテレビの販売状況もアナログ放送停止まであと1年ということで台数は伸びているものの単価ダウンで金額でみた場合は減少気味である。今後は3Dテレビに各メーカーが力を入れており、単価アップを狙っている。(電機)
- 商工会議所のインフォメーションに商店街の通行量の調査結果が出ており、5月10月と年2回行われていますが、今年の5月の調査では過去最低だった。通行量と売上は比例すると言われていたように厳しい状況が一段と増しているように思える。今月から当商店街はアーケードの改修工事が行われており、アーケードの有難さがこんな時に感じられる。今後定期的にアーケードの補修を行い、少しでも長く利用できる努力をしていきたい。(高松市)
- 大手企業の4～6月期決算が出ていて、回復基調にあるようだ。しかし、中小零細や我々商店街にとっては、先行きの希望や展望はゼロだと言える。「悪い駄目だ」と言えるうちは、まだマシで、そんな言葉さえ出さない惨状にある。(丸亀市)

【サービス業】

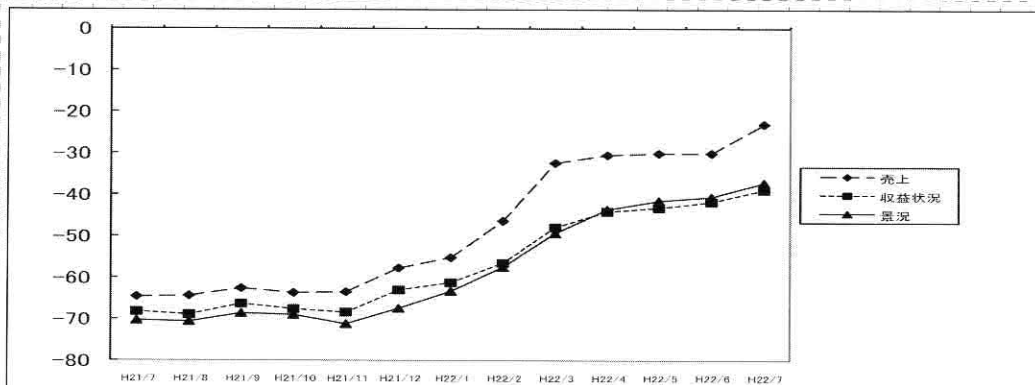
- 組合員の中で雇用人員が少しづつ減少。仕事量半減により、これも仕方なし。しかし生き残りのためみんな必死でがんばっている。(ディスプレイ)
- 今月は、稼働率は昨年と比較し10%程度上昇した。ただ、昨年がとてもひどい数字であり、一昨年に比較すると、20%減少している。瀬戸内国際芸術祭も、業界では、期待しているが、周りの認知度が低く、予約も反映されおらず、困惑している。(旅館)
- 大規模な新規IT投資は見られず、アップグレード、機能強化等既存のシステムに手を加える程度のもが多い。(情報)

【運輸業】

- 高速道路通行料金支払額は対前月比ではデコボコがあるものの、対前年同月比では3月以降6月までプラスが4ヶ月続いておりリーマンショック後の昨年度と比較すると改善の状況が見られる。ETCコーポレートカード枚数も4月以降徐々に増加傾向にあり7月(御中元期)実績もプラスを予想している。(トラック)

全国集計による主要3指標(DI)の推移(対前年同月比)

■全業種



※集計結果は、本会ホームページ上でもご覧になれます。 <http://www.chuokai-kagawa.or.jp/>

組合企業訪問 頑張ってます



瀬戸内陸運株式会社

- 所属団体 社団法人香川県トラック協会
- 役職名 会長

会社の概要



代表取締役 楠木 寿嗣

- 代表取締役 楠木 寿嗣
 設立 昭和33年9月17日
 資本金 6,000万円
 従業員数 260名
 保有車両数 230輛
 住所(本社) 〒760-0065 高松市朝日町5丁目3-110
 TEL (087)851-6068(代)
 FAX (087)821-6075
- (徳島支店) 〒770-0873 徳島市東沖洲2丁目58-3
 TEL (088)664-6200
 FAX (088)664-6203
- (東京支店) 〒132-0011 江戸川区瑞江1丁目19-18
 TEL (03)3968-6050
 FAX (03)3968-6054
- (大阪支店) 〒132-0011 堺市堺区築港八幡町1-57
 TEL (072)229-8766
 FAX (072)229-8767
- (神戸営業所) 〒651-2228 神戸市西区見津が丘4丁目9-2
 TEL (078)998-1155
 FAX (078)998-1177
- 事業内容 一般貨物自動車運送業・特別積合せ貨物運送業・貨物運送取扱事業・営業倉庫業
 グループ企業 株式会社ひっこしパック
 株式会社せとうちタクシー
 有限会社高田タクシー



▲本社ビル

沿革

- 昭和33年 9月 瀬戸内陸運株式会社を設立
高松陸運局より一般貨物自動車運送業の免許を受ける
- 昭和39年 4月 高松陸運局より一般路線貨物自動車運送業の免許を受ける
- 昭和46年 7月 倉庫を建設し、四国海運局より営業倉庫業の免許を受ける
- 昭和55年 3月 有限会社東京ひっこしパックを設立
- 昭和58年 7月 本社を高松市朝日町に移転
- 昭和60年 1月 大阪瀬戸内陸運株式会社を設立
- 昭和62年 3月 大阪瀬戸内陸運株式会社を吸収合併し、大阪営業所とする
- 平成 4年10月 株式会社東京ひっこしパックを吸収合併し、東京支店とする
- 平成 8年 7月 徳島営業所を徳島支店とする
- 平成16年 6月 神戸営業所を開設
- 平成20年 6月 大阪支店を開設

安全・確実・丁寧・そして スピーディな輸送サービスの実現

当社は昭和33年四国高松にて創業以来半世紀以上にわたり、島内を始め近畿・首都圏へと営業展開をしております。

その間、顧客ニーズに応えるべく多種多様な輸送業務をこなす中で培ってきた経験を継承し、掲げた品質目標です。

時代とともに顧客ニーズも大きく変化してきており、取り扱うものも貨物・荷物という呼称からいつのまにか製品・商品へと変わり、高い安全性とシステム化された確実性、丁寧さ、迅速化が常識として求められるようになりました。

当社はISO9001を導入し、全ての部署でPDCAサイクルをフル稼働することにより「顧客満足度100%」「顧客満足は社員満足」というかけ声のもと時代の潮流にあった品質向上に日々精進しております。



▲事務所内



▲トラック

ネットワーク&システム

情報化時代の現在、物流業界もスピード化なくしては生き残れません。

当社も各支店、営業所を中核として関連業者と相互の協力ネットワークを全国に構築し、物流の規模の大小を問わず顧客の要望にきめ細かくお応えしております。

また、輸送システムにおいては合理化、効率化を含めた顧客の要望に対応すべく、一般・引越・倉庫の各部門、車輦においても大中小型車輦(2・4・10tトラック、バン、ウイング、冷凍冷蔵etc.)など様々な積載量の車輦、特殊車輦や倉庫等万全の体制を整えております。

●大型車・中型車・小型車

バン車・ウイング車・平ボディー車等の各種車輦に、各種積載量の車輦を揃えておりますので、顧客のご要望にロスのない選択ができ、きめ細やかなサービスを提供することができます。

●低温輸送

アイスクリームや牛乳などの乳製品をはじめ、大手スーパー・百貨店へのデリカ商品を24時間・365日体制で配送しております。一時の遅れもゆるされないこの様な商品もきめ細やかな手配と柔軟な体制で対応させていただきます。

●クレーンが必要な輸送

建築部材や精密機械等の重量物を安全・確実に輸送するため、クレーンを装備した車輦を保有しておりますので、作業の効率化も図られ顧客からご好評を頂いております。

●引越

「大切な家財を丁寧に運ぶ」を基本理念に荷造りからお掃除まで一貫したシステムで対応しております。また、当社独自の梱包システムは「安全で確実」とご利用頂いた顧客からも大変喜ばれております。

●倉庫

当社は、本社・支店・営業所の全てに倉庫を保有しており、商品の入出庫・在庫をコンピュータで管理しております。受注後の配送手配がシステム化されておりますのでスピーディに処理できます。



▲クレーン車



▲倉庫内フォークリフト

瀬戸内グループの総合力

人と物の交流は、地域の産業・経済の発展と文化の向上に欠かせない要素の一つです。

瀬戸内グループは、その交流の架け橋として地域社会に貢献したいと考えており、瀬戸内陸運のグローバルな視点は、この様なグループ各社で培われております。

●株式会社ひっこしパック

当社独自の梱包システムで荷造りして大切な家財を安全・確実・丁寧に運びます。

また、24時間管理体制でご好評のトランクルームも有しております。

●株式会社せとうちタクシー

●有限会社高田タクシー

安全に!親切に!笑顔で!コンピュータによる配車でお客様を待たせないタクシーとして地域の方々の便利な足として活躍しております。

また、9人乗りのジャンボタクシーや寝台車・車いす専用車輦等の特殊車輦も有しており観光や介護等様々なニーズに対応しております。



▲引越専用車

▲タクシー

今後の抱負

地域の産業・経済の発展を支える物流活動は、情報のスピードアップに伴い近年ますます効率的なシステムと多様化が求められております。

瀬戸内陸運では、商品の保管から輸送まで一貫したシステムで合理化・効率化を望む声に応え、物流新時代の挑戦者として地域企業の発展に貢献してまいりました。

今後は、従来の品質方針に「環境保全」を加え、より一層の改善、充実を推進し「高品質で新しい輸送サービスのご提案」ができる企業を目指したいと考えております。

物流業界のリーディングカンパニーたらんと願いつつ、次ぎの時代への一歩を確実に踏み出すつもりで努力してまいります。

商工中金だより

独立行政法人日本貿易保険(NEXI)と連携し、「NEXI 貿易保険付輸出代金債権担保融資」制度の取扱いを開始します。

【「NEXI貿易保険付輸出代金債権担保融資」制度】

(1) 融資対象者	NEXIの貿易保険を付保された輸出代金債権を保有する法定中小企業
(2) 融資条件	・融資金額 (日本円) 輸出代金債権額を上限 (米ドル) 100千ドル以上、かつ輸出代金債権額を上限
	・融資期間 原則として1年未満(輸出代金債権の決済期日まで)
	・資金使途 原則として運転資金
	・融資形態 手形貸付
(3) その他	・担保 以下について担保取得とする。 ①債権譲渡禁止特約がない輸出代金債権 ②NEXI貿易保険保険金請求権
	融資に際しては当金庫の審査が必要となります。審査結果によっては御希望に添えない場合がございますので、予めご了承ください。

【お問い合わせ先】
株式会社 商工組合中央金庫 高松支店
〒760-0052 高松市瓦町1-3-8
TEL 087-821-6145 FAX 087-851-6074

日本政策金融公庫だより

● 中小企業事業からのご案内 ●

なお、下記掲載は貸付制度の一部ですので、詳しくは日本政策金融公庫高松支店中小企業事業までお気軽にお問い合わせください。

融資制度	融資限度額	融資利率	特別利率限度額	融資期間(最長)	融資制度	融資限度額	融資利率	特別利率限度額	融資期間(最長)
新事業育成資金 (固定金利型)	6億円	特別利率③ ただし、6年目以降は 基準金利+0.2%	6億円	設備 15年 運転 7年	地域活性化・ 雇用促進資金	7億2千万円	基準利率 特別利率①②③ (③-0.4)	5億4千万円	設備 20年 運転 7年
新事業活動促進資金 (固定金利型)	7億2千万円	基準利率 特別利率①③	2億7千万円	設備 20年 運転 7年	環境・エネルギー 対策資金	7億2千万円	特別利率①②③ 特設エネルギー 特設エネルギー	4億円	設備 15年 運転 7年
IT活用促進資金	7億2千万円	特別利率①②	2億7千万円	設備 15年 運転 7年	経営環境変化 対応資金	7億2千万円	基準利率 (注1)	7億2千万円	設備 15年 運転 8年
企業活力強化資金	7億2千万円	特別利率①②③	2億7千万円	設備 20年 運転 7年	事業再生支援資金	7億2千万円	基準利率+2.5% 基準利率+1.0%	—	設備 10年 運転 5年
海外展開資金	2億5千万円	基準利率	—	設備 15年 運転 7年	企業再建・ 事業承継支援資金	7億2千万円	基準利率 特別利率①	2億7千万円	設備 20年 運転 10年

(注1) ●長期運転資金に限り、上限3% ●一定の要件に該当する場合、金利控除(0.1%、0.3%又は0.4%)の適用可能
(注)同一貸付でも、信用リスクや貸付期間により、適用利率が異なります。融資利率等の詳細は日本政策金融公庫HPをご覧ください。

● 国民生活事業からのご案内 ●

日本政策金融公庫 国民生活事業では、政府の経済対策により、
設備資金の利率およびセーフティネット貸付(運転資金)の利率引き下げを実施しています!

融資制度内容

【設備資金貸付利率特例制度】

設備資金の利率を2年間低減・・・(低減利率)0.5%

ご利用 いただける方	事業資金で設備資金をご利用される方
ご融資額	各融資制度に定めるご融資額以内
低減期間	2年間
利率	(当初2年間)各融資制度に定める利率 -0.5% (2年経過後)各融資制度に定める利率 (固定)

【セーフティネット貸付】

- 売上が減少する等業況が悪化している方に対する利率低減 (低減利率) **0.3%**
- 雇用の維持・拡大を図る方に対する利率低減 (低減利率) **0.2%**
- 上記の2項目に該当する方に対する利率低減 (低減利率) **0.5%**

拡充後の利率 **1.65%～(固定)**

株式会社 日本政策金融公庫 高松支店

〒760-0023 高松市寿町2-2-7 COI高松ビル2・3階 URL: <http://www.jfc.go.jp/>

中小企業事業(旧 中小企業金融公庫)

〒760-0023 高松市寿町2-2-7 COI高松ビル3階
TEL:087-851-9141 FAX:087-822-1423

国民生活事業 融資相談係(旧 国民生活金融公庫)

〒760-0023 高松市寿町2-2-7 COI高松ビル2階
TEL:087-851-0198 FAX:087-822-9274

3日	四国地区中小企業団体中央会事務局代表者会議	(徳島ワシントンホテルプラザ)
5日	香川県外国人研修生受入組合連絡協議会通常総会	(ホテルパールガーデン)
10日	香川県書店商業組合通常総会	(ホテルパールガーデン)
11日	四国地域(第1回香川)国内クレジットネットワーク会議	(四国経済産業局)
17日	全国中央会臨時総会	(鉄鋼会館)
19日	香川県ふるさと雇用再生特別基金協議会	(香川県社会福祉総合センター)
	活性化担当者研修(～20日)	(全国町村議員会館)
21日	協同組合庵治石振興会通常総会	(さざなみ亭)
23日	改正貸金業法説明会	(四国財務局)
24日	企業組合サミット2010	(明治記念館)
25日	かがわ中小企業応援ファンド事業審査委員会	(ネクスト香川)
	かがわ中小企業応援ファンド事業成果発表会	(頭脳化センタービル)
26日	テーマ別情報提供研修(～27日)	(全国中央会)
27日	香川県仕出し弁当協同組合通常総会	(二蝶)
	香川県管工事業協同組合連合会通常総会	(サンルート瀬戸大橋)
	協同組合エフォートかがわ通常総会	(たちばな)

中小企業
大学校研修の
御案内

- タイトル 経営者のための人事・労務管理
- 日時 平成22年10月7日(木)～10月8日(金)【2日間】
- 会場 経営支援プラザUMEDA(大阪市北区梅田1-1-3
大阪駅前第3ビル19階)
- 対象者 経営者・後継者・経営幹部
- 受講料 21,000円
- 定員 20名
- 特色 ①経営者に求められる人事・労務管理の最新知識を学びます。
②人事労務上のトラブル対応策につき事例を交えて学びます。
③効果的な人事戦略の考え方を、演習を通じて学びます
- 講師 中村 範久(中村総合経営事務所 所長)
※詳細情報 <http://kansaiko.jp/course/1016.html>
- お問い合わせ先
中小企業基盤整備機構近畿支部中小企業大学校関西校
兵庫県神崎郡福崎町高岡 TEL0790-22-5931

BOOK RANKING 県内ベストセラー



順位	書名	著者	出版社/定価
1	瀬戸内国際芸術祭2010公式ガイドブック		美術出版社/1,260円
2	猫物語(黒)	西尾維新	講談社/1,365円
3	もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら	岩崎夏海	ダイヤモンド社/1,680円
4	体脂肪計タニタの社員食堂	タニタ	大和書房/1,200円
5	終わらざる夏(上)(下)	浅田次郎	集英社/各1,785円

企業の人事担当者の皆様へ

当センターでは

人材の確保・従業員の再就職を 支援しています

事業の拡大・欠員補充等による
人員確保を行いたいとき

事業の整理・縮小等に伴い、
人員削減せざるを得ないとき

高齢者の方々の継続雇用
雇用確保に取り組まれるとき

そんなとき、お気軽にご相談ください



お問い合わせは



財団法人 産業雇用安定センター
香川事務所

〒760-0023 香川県高松市寿町2丁目4-20 高松センタービル8階

TEL (087) 851-1011

FAX (087) 851-1014

ご利用時間
9:00~17:00
(土・日・祝日は除く)

URL <http://www.sangyokoyo.or.jp/> 左記のセンターホームページでは
E-mail kagawa@sangyokoyo.or.jp 求人情報を提供しています。

